

10月RPAスキルアップ研修 モニター生募集

Nisso Brain
いつも「ありがとう！」のとなりに。



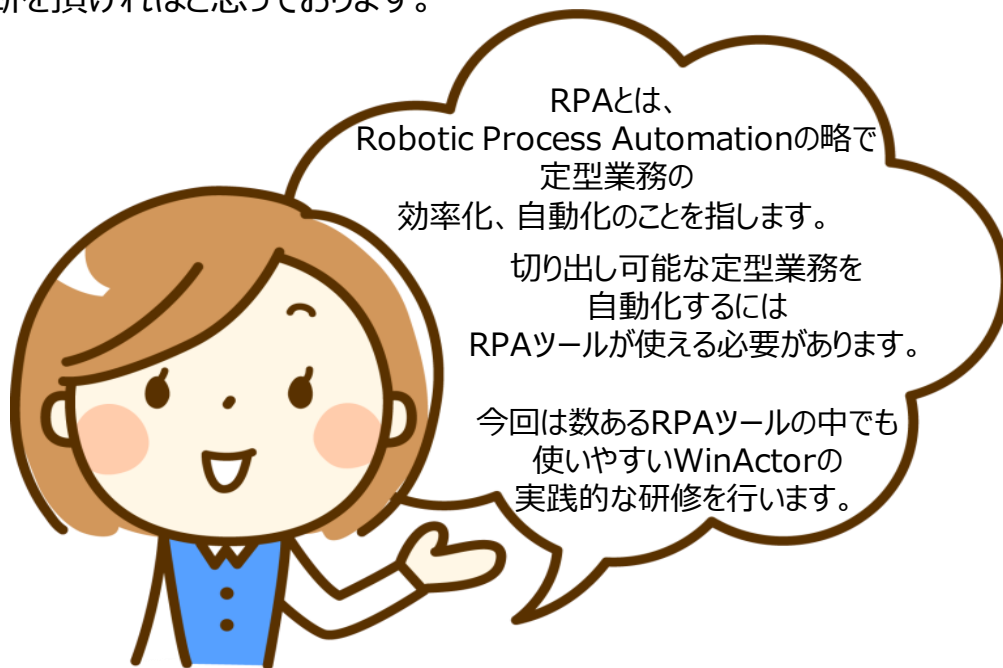
今**話題のRPAスキル**を身に着けて、今までの経験や業務知識を活かし
長期的なキャリア形成、更なるスキルアップを目指しませんか？

RPAとは何なのか・・・ 私にも出来るかしら・・・など
不安を解消していただく為の「RPAガイダンス」を以下の日程で実施致します！

・10月2日（水） 18：00～19：00

・10月3日（木） 14：00～15：00

マイページのニュース&キャンペーンよりお気軽にお申込みください。
ガイダンスご希望の日時をお申込みページの連絡網にご入力ください。
RPAガイダンスを受講後、最終的にRPAスキルアップ研修を受講するか
ご判断を頂ければと思っております。



RPAとは、
Robotic Process Automationの略で
定型業務の
効率化、自動化のことを指します。

切り出し可能な定型業務を
自動化するには
RPAツールが使える必要があります。

今回は数あるRPAツールの中でも
使いやすいWinActorの
実践的な研修を行います。

こんな方におすすめ！

Excelが好き！
Excelスキルを活かしたい

RPAスキルを学びたい

今の仕事からステップアップしたい

給与アップしたい

業務改善が好き

ゼロベースから
作り上げることが楽しい

新しいことにチャレンジしたい

10月 RPAスキルアップ研修スケジュール

- ▼研修期間 10/15（火）～10/23（水）の平日6日間
- ▼研修時間 9：30～18：00（11：30～12：30お昼休み休憩）
- ▼研修会場 日総ブレイン横浜オフィス
- ▼受講料金 弊社を通してご就業中の方、 ご登録の方は無料

1週目 (10月15日（火）、16日（水）、17日（木）)	2週目 (10月18日（金）、21日（月）、23日（水）)
RPA基礎研修	RPA応用研修
○ITリテラシー編 ○WinActor入門編 - RPAについて - シナリオ作成について - 自動操作インターフェースについて - WinActor画面構成、基本操作 - 見本操作の記録 - 個別ノードの設定 - 画像マッチング、画面設定 - ウィンドウ識別ルールについて ○WinActor基本編 - ExcelのデータをIEへ転記 - 変数について - 分岐と繰り返しについて - 条件式の設定 - エラー処理	○WinActor応用編 - 汎用性の高いシナリオ作成 - サブルーチンの設定 - ID、パスワードの取り扱い - シナリオのパスワード設定 - 月末日、曜日取得方法 - ファイルリストの作成 - 表の値取得（IE） - 自動実行の設定 ○新規シナリオ作成 - シナリオテンプレート - 定期代申請チェックシナリオ - Excel請求書の印刷シナリオ ○既存シナリオの改修 - Win7のシナリオをWin10でも使用可能なシナリオに修正

【受講対象】

- ・受講開始日前にRPAガイダンスにご参加いただける方
 - ・6日間の研修すべて受講いただける方
 - ・各種アンケートにご協力いただける方
 - ・受講後、当社のRPA派遣スタッフとしてご就業が可能な方
- ※研修期間中に営業担当との面談がございますので、
ご対応いただける方

【お願い・注意事項】

- ※お電話でのお申込みは承っておりません。
- ※お申込み後、3営業日以内に担当よりメールもしくはお電話にてご連絡いたします。
- ※ご応募が多い場合は抽選とさせていただきます。

RPA派遣スタッフについて

研修受講後はRPA派遣スタッフとしてご就業して頂きます。

▼RPAエンジニアとRPA派遣スタッフの違いについて

RPAエンジニアは自動化の開発がメインの為、一通り自動化（シナリオの作成）の開発が終わると次の就業先でまた自動化の開発をするという流れになります。

また開発期間も1ヶ月～半年、就業時間も週3日、1日5時間など就業先によってまちまちです。

RPA派遣スタッフは一般的な事務作業と平行して自動化（シナリオの作成）、保守（不具合発生時や修正が必要な場合の対応）を担当して頂くので、長期的なご就業が可能です。
RPA派遣スタッフとして時給2000円も夢ではありません。

※RPA派遣スタッフとしてご就業後、実務経験を積んで頂き、RPAエンジニアとしてステップアップして頂くことも可能です！

【自動化の一例】



今まで手作業で業務していた部分の自動化（シナリオ作成）を行います。
この部分が「**開発**」になります。
開発が一通り終わるとRPAエンジニアは次の就業先へ移ります。

開発後は
作成したシナリオを
一定間隔で自動実行しますが、
RPA派遣スタッフは
開発後も事務作業と平行して
不具合発生時に
対応をしていただきます。
この部分が
「**保守**」になります。

